

教育省、虚偽の報告などを含む不正行為を行った営利大学2校に対し
連邦学資援助を打ち切り（2月1日）

教育省（Department of Education）は2月1日、同省連邦学資援助局（Office of Federal Student Aid : FSA）による調査の結果、営利大学のマリネロ美容学校（Marinello Schools of Beauty）及びコンピュータシステムインスティテュート（Computer Systems Institute : CSI）による違反が深刻であることが判明したため、ネバダ州及びカリフォルニア州に所在するマリネロ美容学校23校とイリノイ州に所在するCSI3校による、連邦学資援助プログラムへの参加を打ち切ることを明らかにした。CSIは、教育省及び大学認証機関の独立大学認証委員会（Accrediting Council for Independent Colleges and Schools : ACICS）に対し、学生の就職率に関して虚偽の報告をしていたという。一方、マリネロ美容学校は、故意に無効な高校卒業資格に基づいて連邦学資援助を申請し、学生に対して高等教育法第4条（Title IV）に基づく学資援助を十分に付与せず、学生に対して過剰な超過勤務を課した他、虚偽の行為を行ったとしている。また、教育省は、保留となっている両大学からの再認証申請を却下した他、マリネロ美容学校に対しては、FSAによる監督を強化する措置を取っている。2014-15学年度には、マリネロ美容学校は、全米56校で連邦学資援助8,700万ドル超を受給した一方、CSIは、7校で合計約2,000万ドルを受給している。

Department of Education, U.S. Department of Education Takes Enforcement Against Two School Ownership Groups
<http://www.ed.gov/news/press-releases/us-department-education-takes-enforcement-against-two-school-ownership-groups>